

平成30年4月27日(金)

国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所
独立行政法人水資源機構沼田総合管理所(矢木沢ダム、
奈良俣ダム)、下久保ダム管理所、草木ダム管理所

記者発表資料

利根川上流の7つのダムが満水になりました

農業用水を始めとする水需要の増大に向けた河川補給に備え、首都圏の1都5県(東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流8ダムの、相俣ダム、藪原ダムが4月25日満水となりました。

これまでに、5ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、下久保ダム、草木ダム)が満水となっており、利根川上流の7ダムが満水となりました。

上記の7ダムに、渡良瀬貯水池を含めた、利根川上流8ダムの4月27日0時時点の合計貯水量は4億3,737万 m^3 (95%)となっています。

利根川上流8ダムでは、引き続き関係機関と連携しつつ、きめ細かいダム運用に努めてまいります。今後の降雨状況によっては、貯水量が減少する可能性もあることから、引き続き節水にご理解、ご協力をお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ
藤岡記者クラブ、桐生記者クラブ、沼田記者クラブ

問い合わせ先

○国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所 電話 027-251-2021(代表)
副所長(技術) 笠原 治夫 広域水管理課長 齊藤 靖

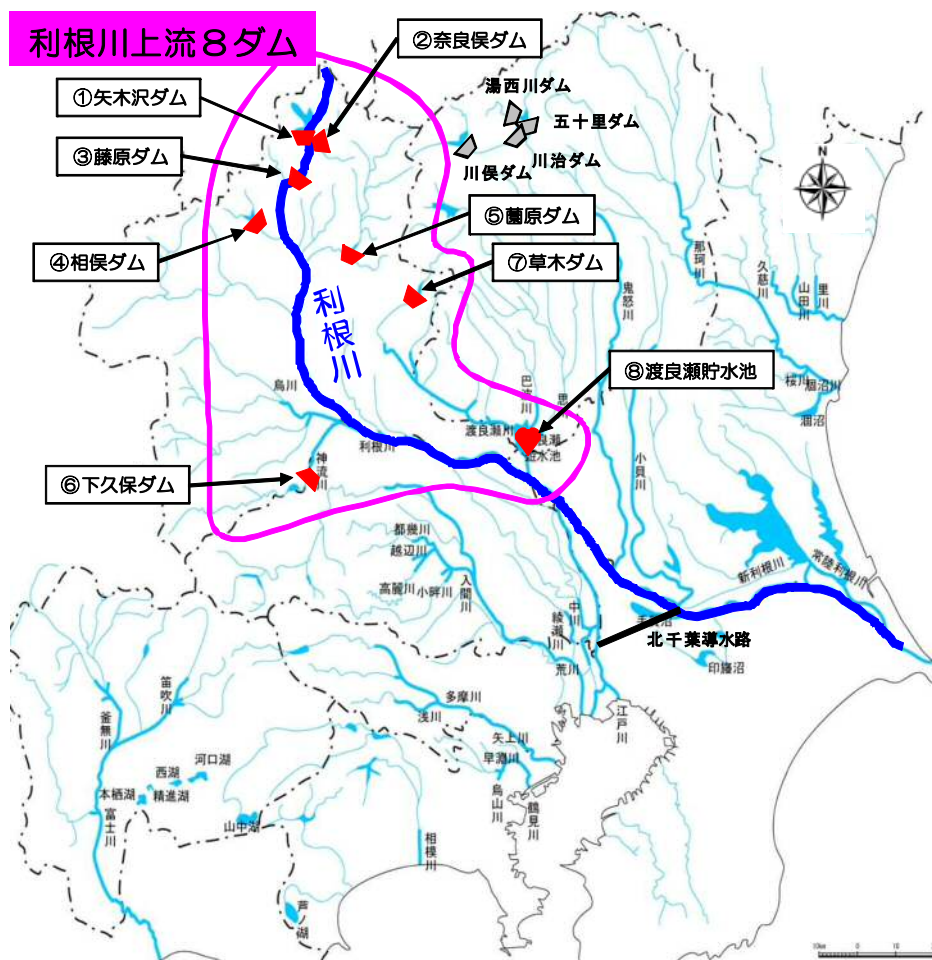
○独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所 電話 0278-24-5711(代表)
(矢木沢ダム、奈良俣ダム)管理課長 中原 忠義

下久保ダム管理所 電話 0274-52-2746(代表)
所長代理 野中 樹夫

草木ダム管理所 電話 0277-97-2131(代表)
所長代理 川野 明夫

利根川上流8ダムの貯水量

ダム名	有効貯水容量	満水到達日	備考
① ^{やぎさわ} 矢木沢ダム	1億1,550万 m ³	4月18日	
② ^{ならまた} 奈良俣ダム	8,500万 m ³	4月19日	
③ ^{ふじわら} 藤原ダム	3,101万 m ³	4月19日	
④ ^{あいまた} 相俣ダム	2,000万 m ³	4月25日	
⑤ ^{そのはら} 藪原ダム	1,322万 m ³	4月25日	
⑥ ^{しもくぼ} 下久保ダム	1億2,000万 m ³	4月12日	
⑦ ^{くさき} 草木ダム	5,050万 m ³	4月9日	
⑧ ^{わたらせちよすいち} 渡良瀬貯水池	2,640万 m ³	—	貯留中



利根川上流8ダム位置図

利根川ダム統合管理事務所では、利根川上流ダム群の状況等について情報提供サービスを行っています。ご利用下さい。

○インターネットホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>
ダム情報、ダムLIVE情報、降水量・水位LIVE情報、雨量・流量・積雪情報

【参考資料:解説】

1. 利根川上流8ダムの貯水状況

平成29年の利根川上流8ダムは、5月31日に貯水量4億454万 m³ となりましたが、6月上旬以降降雨が少ない状況が続き河川流量が減少した時に、都市用水や農業用水の需要を確保するため、ダムに貯留した水を補給し、6月30日に貯水量は2億6,002万 m³ まで減少しました。

10月は、台風21号、22号によるまとまった降雨もあり、10月31日に4億438万 m³ まで回復しましたが、12月中旬以降には再び補給に転じました。

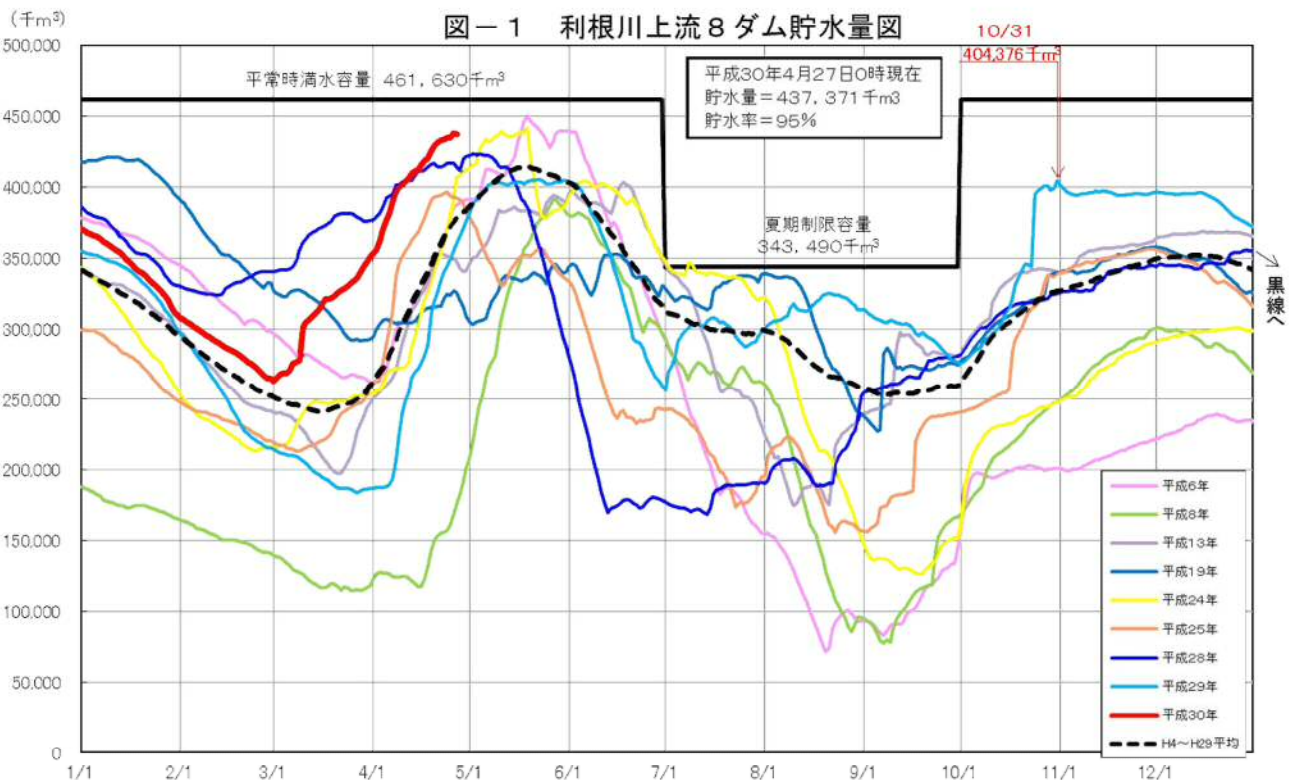
平成30年に入り1月と2月は、少雨で河川流量が減少したためダムからの補給量が多くなり、ダム貯水量の減少が速くなったため、下流施設(北千葉導水路)を活用し、ダム貯水量の温存を図りました。

3月に入ると平年を上回る気温上昇と降雨のため、融雪等によりダムへの流入量が増加し、利根川上流8ダムのうち、7ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藪原ダム、下久保ダム、草木ダム)が満水となりました。なお、下久保ダムが満水となるのは平成11年以来19年ぶり、草木ダムは平成27年以来3年ぶりです。

今後は水需要が増大していく時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムからの補給量が増加しダム貯水量が減少する可能性があります。

利根川上流8ダムでは、ダムの効果を最大限に発揮するよう、一元的にコントロールする「統合管理」を行っており、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

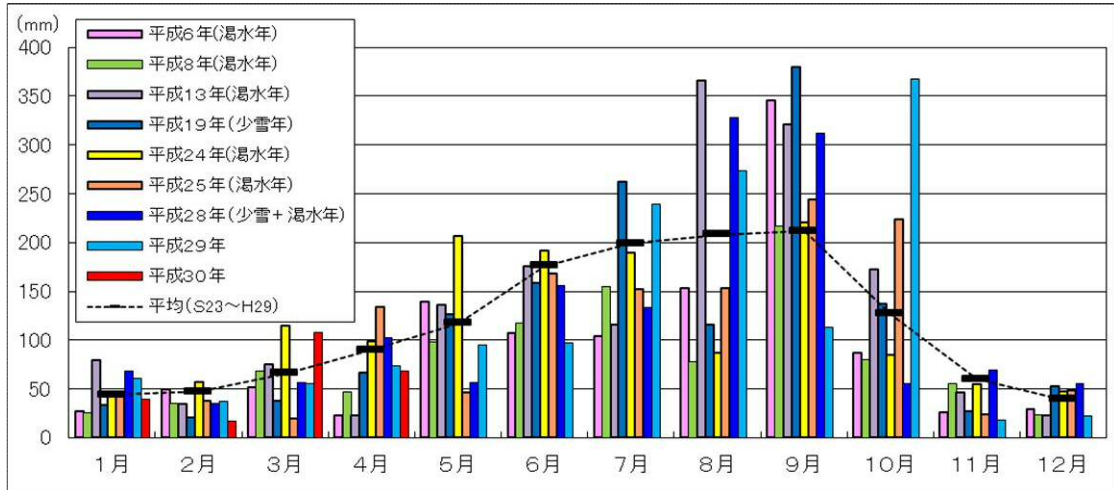
なお、渡良瀬貯水池については、冬期における貯水池干し上げ後の貯水に努めており、現在の貯水量は881万 m³(貯水率:33%)まで回復しています。



2. 利根川上流域の降水状況

平成30年の栗橋上流域における降水量は、1月は39mm(平均値の89%)、2月は17mm(平均値の36%)、3月は108mm(平均値の163%)を観測しており、1月～3月までの総降水量としては、平年並みとなっています。

4月は平年を下回る降水量、69mm(平年比76%)となっています。



図－2 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

表－1 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

	(mm)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平均(S23～H29)	44	47	66	90	117	176	199	208	212	127	60	39	1,385
平成6年(渇水年)	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143
平均値に対する割合(%)	61	106	79	26	119	61	52	74	163	69	43	74	83
平成8年(渇水年)	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999
平均値に対する割合(%)	59	74	103	52	84	66	78	38	102	63	92	59	72
平成13年(渇水年)	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569
平均値に対する割合(%)	180	74	114	26	116	100	58	176	151	136	77	59	113
平成19年(少雪年)	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420
平均値に対する割合(%)	77	45	58	74	108	90	132	56	179	108	45	136	103
平成24年(渇水年)	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395
平均値に対する割合(%)	97	121	174	109	176	109	96	42	104	67	91	121	101
平成25年(渇水年)	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294
平均値に対する割合(%)	98	81	30	149	39	95	76	74	115	176	40	123	93
平成28年(少雪+渇水年)	68	36	57	103	56	156	134	328	312	55	69	55	1,429
平均値に対する割合(%)	155	76	86	114	48	89	67	158	147	43	115	141	103
平成29年	61	37	56	73	95	97	240	274	113	368	18	22	1,453
平均値に対する割合(%)	138	79	84	81	81	55	120	132	53	290	31	56	105
平成30年	39	17	108	69									233
平均比(%)	89	36	163	76	0	0	0	0	0	0	0	0	17

数値は、平成30年4月27日迄の速報値
利根川取水制限実施月(一時緩和含む)

3. 利根川上流域の積雪状況と気温

(1) 積雪状況

藤原ダム地点は11月21日に初冠雪となり、積雪深は平均値を上回ったまま推移し、3月28日に消雪しました(H28-H29 期は4月18日に消雪)。また、尾瀬沼地点は、11月1日に初冠雪となり、積雪深は平均値とほぼ同様な推移となっています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で150cm(1月4日 ※ 昨期は2月12日に183cm)、尾瀬沼地点で252cm(1月28日 ※ 昨期は3月27日に287cm)となっています。

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量表

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深	累加降雪量
藤原ダム (標高667m)	平成30年4月27日9時現在	0cm	150cm(1月4日)	633cm
	S34~H29の4月第6半旬末平均値	0cm		738cm
尾瀬沼 (標高1666m)	平成30年4月27日9時現在	97cm	252cm(1月28日)	1,341cm
	S30~H29の4月第6半旬末平均値	141cm		1,405cm

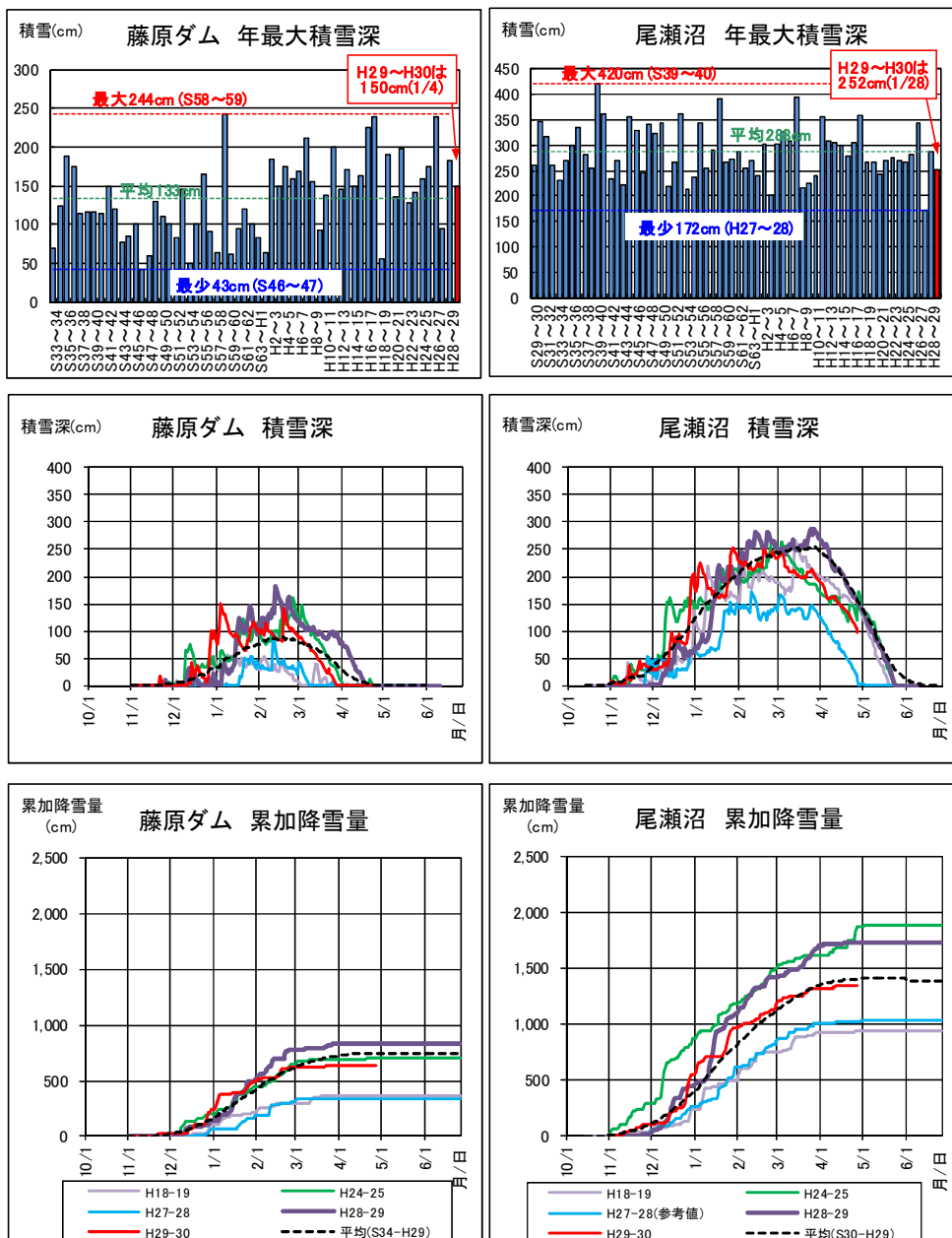


図-3 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量図

4. 利根川上流8ダムの状況写真（撮影日：平成30年4月9日～4月26日）

①矢木沢ダム（4月19日）



②奈良俣ダム（4月19日）



③藤原ダム（4月19日）



④相俣ダム（4月25日）



⑤菌原ダム（4月25日）



⑥草木ダム（4月9日）



⑦下久保ダム（4月12日）



⑧渡良瀬貯水池（4月26日）

